

「ずっと地球で暮らそう。」を合い言葉に、  
お客様と一体になった活動を展開しています。

環境保全を効果的に推進するためには、企業として環境保全に取り組むことはもちろん、企業の枠を越えて、多くの人々と活動を推進するとともに、積極的に活動の内容や考え方を伝えていくことが重要です。コスモ石油では、お客様と一体となった環境保全プロジェクトをはじめ、環境保全の大切さを広く社会に伝えることを目的とした啓発活動や社会貢献活動を行っています。

「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクト



コスモ・ザ・カード「エコ」の仕組み、入会方法については裏表紙をご覧ください。

コスモ石油は、お客様とともに環境保全を推進するためのきっかけとして、コスモ・ザ・カード「エコ」を発行しました。会員数は、2002年4月の発行から、2003年3月末の1年間で、約56,000人になりました。「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトは、会員の皆様の寄付金とコスモ石油の寄付金を基金として、地球温暖化防止や発展途上国支

援活動、環境教育などを行っています。また、より多くの方々に環境保全に対する関心をもっていただけるよう、テレビコマーシャルなどで活動を紹介しています。

詳しくは、<http://www.cosmo-oil.co.jp/kankyo/project/index.html>。

途上国の環境修復・保全

熱帯雨林保全プロジェクト	パプアニューギニア、ソロモン諸島	NPO法人APSDや(財)オイスカとともに、熱帯雨林保全に向けて、焼畑農業から定地型有機農業への転換を支援
南太平洋支援プロジェクト	キリバス	温暖化に伴う海面上昇により国土の存続の危機にさらされているキリバスに対する支援
シルクロード緑化プロジェクト	中国	NPO法人2050とともに、砂漠化が進むシルクロードの各都市で植林事業を支援
循環型農業支援プロジェクト	フィリピン	NPO法人2050とともに、環境破壊の進む農村部でエリ蚕養蚕を軸とする循環型農業の普及を支援

国内の環境修復・保全

国内希少自然保全プロジェクト	日本	NPO法人セブンサミッツとともに、白神山地のブナ林や富士山などの日本の希少自然保護を支援
環境教育・啓発		
棚田保全プロジェクト	日本	小学生を対象に、棚田での農業体験を通しての環境教育を支援

熱帯雨林保全プロジェクト

「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトの一つが、この「熱帯雨林保全プロジェクト」です。熱帯雨林の破壊は、地球温暖化を加速させます。私たちは、熱帯雨林保全のために、パプアニューギニアとソロモン諸島で、「焼畑農業」から「定地型有機農業」への移行を支援しています。

私たちは、何度も現地に足を運び、現地の方々との意見交換や調査をした結果、熱帯雨林の破壊を食い止めるには、植林という直接的な修復よりも、森林破壊の原因となる「食糧難」と「貧困問題」を解決することが重要であると認識するに至りました。それには、稲作と畜産などを組み合わせた「定地型有機農業」の普及が有効です。土壌を衰えさせることなく、同じ場所で持続的に食糧生産が行え、さらに米の輸入に使われている国家予算も節約できるからです。



2002年度は、パプアニューギニアの3つの村に精米機を寄贈しました。どの村でも稲作に対する意欲や、環境保全に対する意識は高く、今後の波及効果が期待されます。



ソロモン諸島では、マライタ州フィウ村を循環型農業のモデルビレッジとし、農業普及リーダー育成の場とするためのプロジェクトも推進しています。2002年度は、村内のアクセスロードがほぼ完成し、研修センターなどの建設に着工しました。